

電子書籍よ、さようなら

凜とせよ公共図書館

—印刷本の面白さを未来に残すために—

8月5日(日)午後2時～4時30分

講師：堀越洋一郎氏（武蔵野美術大学元教授・現非常勤講師）
星俊雄氏（日外アソシエーツ勤務）

会場：調布市市民プラザあくろす あくろすホール②



京王線国領駅北口徒歩1分

コクティ-3階

調布市国領町2-5-15

電話：042-443-1211

参加費：500円

定員：50人先着順（事前申し込み優先）申し込みはメールかFAXで

主催：NPO法人共同保存図書館・多摩

—NPOの会員でなくても、どなたでも参加できます—

二〇一〇年は「電子書籍元年」といわれ、電子書籍が普及し始めています。しかし、実態はどうなのでしょうか。今後、印刷資料はどうなっていくのでしょうか。

今回の多摩デポ講座では、堀越洋一郎氏と星俊雄氏にお越しいただき、「電子書籍よ、さようなら 凜とせよ 公共図書館」という演題でご講演いただくことにいたしました。

私たちは、印刷資料を残し、利用しやすい環境を整えるために共同保存図書館を提案してきましたが、電子書籍との関係を整理しておかなければなりません。そのためには、電子書籍の現状と今後の方向性を見極める必要があります。

未来のために「最後の一冊」は現物を残しておくことについて、あらためて考えてみたいと思います。ふるってご参加ください。

